

## ロシア連邦への議員派遣反対討論

日本共産党栃木県議団の野村せつ子です。私は議第8号、議員派遣について、反対の立場から討論します。

議案は、10月14日から19日までの6日間、知事のロシア連邦カルーガ州等の訪問にあわせ、県議2名を派遣するものです。

知事の訪問の目的は、両州・県の今後の交流のあり方について協議するためとされ、知事のほか産業労働観光部長、国際課長、職員3名の計6名が訪問します。これと併せて経済交流の可能性を探るため、県内企業や団体等で構成する経済ミッションも実施されるとのことです。議会代表は、この訪問団と共に調査や協議を行うとのことでした。

カルーガ州との交流は、2016年の安倍首相とプーチン大統領の首脳会談を契機とし、2017年11月ごろ、先方が交流を希望していることが外務省、総務省を通じて伝えられ、始まったと聞きます。首都に近く、自動車産業が活発であるなど近似性があるということです。今年6月に、カルーガ州政府の知事一行が来県し、交流に関する協議が開始されました。

協議は開始されたばかりで、まだ、どのような交流が可能なのか、可能性について検討している段階です。そのこと自体に反対するものではありません。しかし、検討の段階から、議会代表を派遣する必要があるのか、疑問を感じます。県民の代表として議員を派遣するのであれば、正式に、交流に関する協定あるいは調印が行われる段階で考えればよいのではないのでしょうか。また、カルーガ州からの訪問団には、議会関係者は含まれていなかったということですから、本県の議会代表が訪問しなくても、先方にたいして失礼に当たることはないものと考えます。この点が反対する理由の一つです。

もう一点は、議員の海外派遣の費用が増える一方だからです。今回の派遣費は、議員2人、職員一人の計3名で、約650万円とのことでした。しかも、今年度は、6月にシンガポール、タイへの海外行政調査に3名、7月にブラジル・アルゼンチンへの訪問に3名を派遣しています。これで議員の海外派遣は3度目となります。その費用は3回あわせて、おおよそ2400万円近くになると見込まれます。

さらに、本日、知事から説明がありました一般会計補正予算案によりますと、友好提携協定25周年を迎える中国・浙江省との交流事業や、香港での観光トップセールスの経費などとして、1,142万円が計上されております。過去の例を見れば、ここにも議会代表が派遣される可能性があります。また知事部局の予算についても、今回のロシア訪問費、約1500万円は、補正予算案には盛り込まれていませんから、予備費から拠出されるものと思われる。知事部局予算においても、国際交流事業費がふくらむことが懸念されます。

本県の財政状況は、地域経済の活性化も質上げも十分でないため、税収確保に不透明さがつきまっています。県民サービス、医療・福祉の予算もきわめて不十分です。

こうした財政状況をふまえ、すでに姉妹提携している浙江省との節目の交流事業が控えていることも勘案して、経費は最小限に抑えるべきではないでしょうか。今回のロシア訪問は、知事部局のみとし、議会からの派遣は見合わせるべきだと考えます。

したがって、議第8号に賛成することはできません。以上をもって日本共産党の反対討論といたします。

